

海外から見た中部圏の魅力向上

～中部圏で活躍する外国人の意見集約～

2月4日(月)、中経連は総合政策会議において、国際委員会(委員長:大島副会長)として取りまとめた「海外から見た中部圏の魅力向上 ～中部圏で活躍する外国人の意見集約～」を報告した。今後、中経連会員をはじめ、地方自治体、関係団体等に幅広く配布するとともに、国際委員会では集約した意見から課題を抽出して具体的活動に結び付けていく。

意見集約の概要

意見集約作成の経緯

中部圏への優良な海外企業の誘致や当地での外国人を含む多様で有能な人材の活発な対流・交流が、中部圏のさらなるグローバル化や発展にとって必要不可欠な条件である。そのためには、中部圏が外国人の視点から「魅力のある」「暮らしやすい」地域でなければならない。

国際委員会では、アンケートや意見交換会を通じて、中部圏で会社を営み、働き、学ぶ、さまざまな外国人(計246名、44カ国)から生の声を収集、集約した。



中部在住の外国人と国際委員会の委員を交えて開催した意見交換会の様子

総括

- 多様性を理解・尊重し、多言語対応と平易な日本語による、利便性に重点を置く官民サービスの整備
- 多様で優秀な人材を育成かつ呼び込める土壌・環境を整備し、イノベーションや新たな産業を創造する好循環の持続
- 東京や大阪とは異なる特色を、住民が誇りをもってより積極的に、自分たちの言葉でPR

分野別の主な意見

1. 情報・コミュニケーション

- 表示・標識、説明、コミュニケーションにおける「わかりやすい日本語」と「正しい英語」の使用
- 行政・民間のサービスの多言語対応
- 行政・民間サービス等あらゆる分野での英語のホームページの立ち上げ

2. 暮らし・文化・サービス

- 当地で暮らす外国人向けの当地の歴史・文化に触れる機会の増加
- 役所・銀行・携帯電話・住宅探し・医療など暮らしに密接するサービスの多言語対応
- 行政サービス等の書類の電子化と多言語化の促進

3. 街づくり

- 車中心の街づくりから歩行者・自転車に重点を置いた街づくりへの転換
- さまざまな外国人に適した多様性のある住宅の選択肢の拡大
- ショッピング・食事・バー・文化施設・スポーツ施設・散策など街のデザイン(営業時間、オープン性、メニュー等)の再構築

4. 教育

- 世界レベルの大学をつくり世界中から優秀な学生・教員

を呼ぶことによるグローバル化推進

- 優秀な外国人材誘致のための国際学園の質の向上と複数化
- 多様な才能のある人材プールの醸成と英語力の向上

5. 名古屋人・中部の人々の気質・性格、日本および日本人のビジネス習慣

- 多様性を受け入れ、外国人に心を開くこと
- 文化の違いへの理解度・寛容性の醸成
- 非常に保守的、新しいトレンドに躊躇する傾向が強いというイメージからの脱却

6. 地域のグローバル化や魅力向上に関する方策

- 東京・大阪と競おうとせず、当地の特色(売り込みポイントを定めて)のアピール
- 他人任せでなく当地域の日本人による、海外に向けて当地のPRを行うこと
- 多様性のある「良い都市環境」「良い住環境」「良い労働環境」「良い研究環境」などの整備

7. 地域産品の海外拡販、外国人観光客増加のアイデア

- 中部地域の認知度向上
- 世界に通用し誇れる伝統的日本文化の多言語でのPR

【問い合わせ：国際部】

意見集約の詳細につきましては、中経連ホームページ(<http://www.chukeiren.or.jp/>)をご覧ください